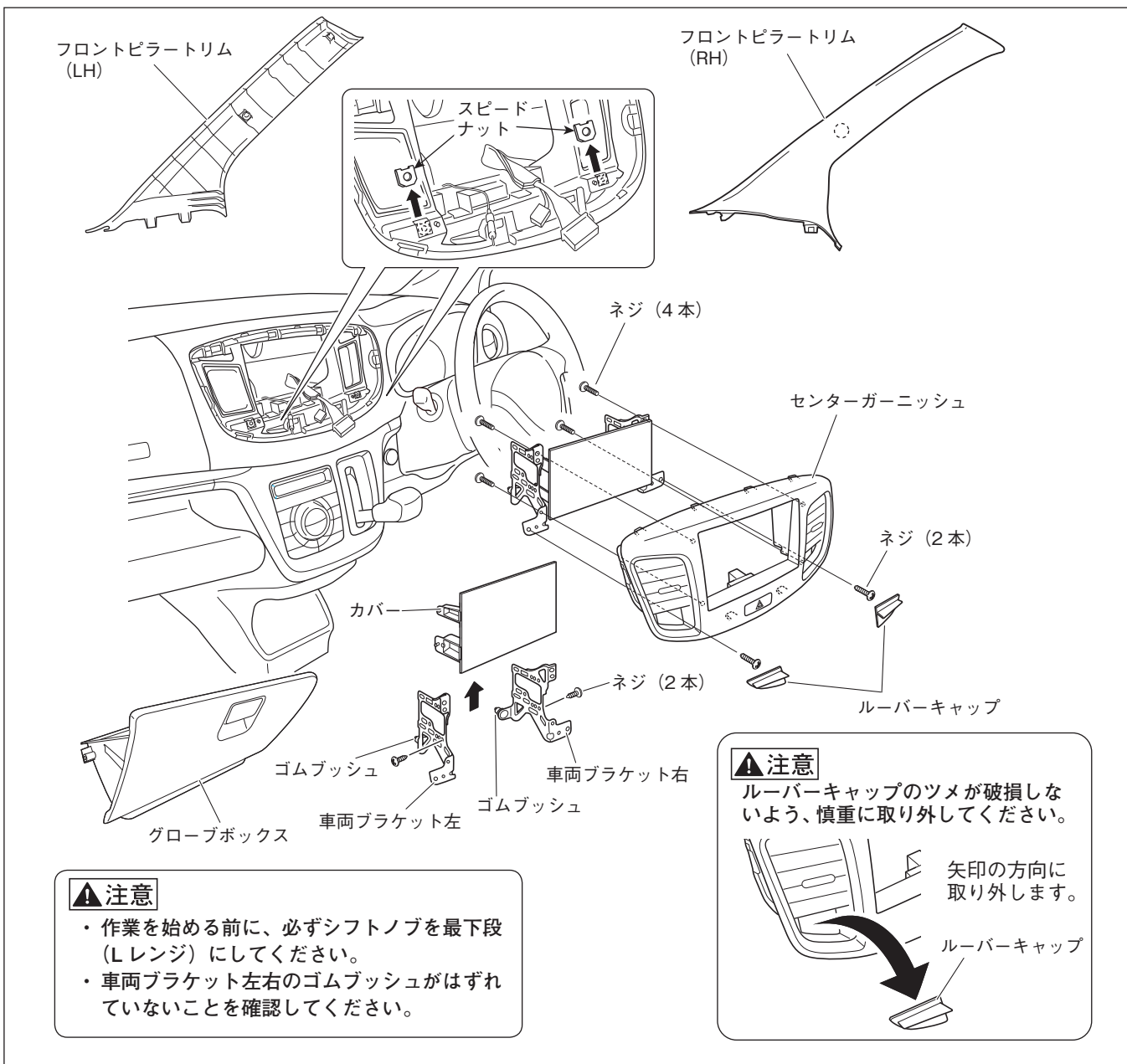


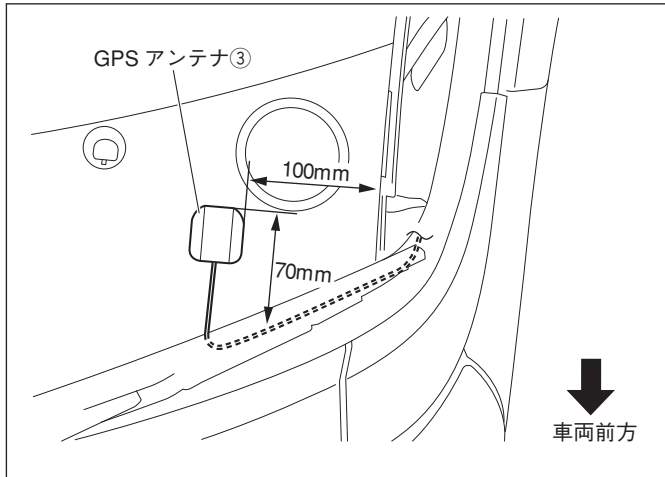
■ ワゴンR

1. 車両部品の取り外し



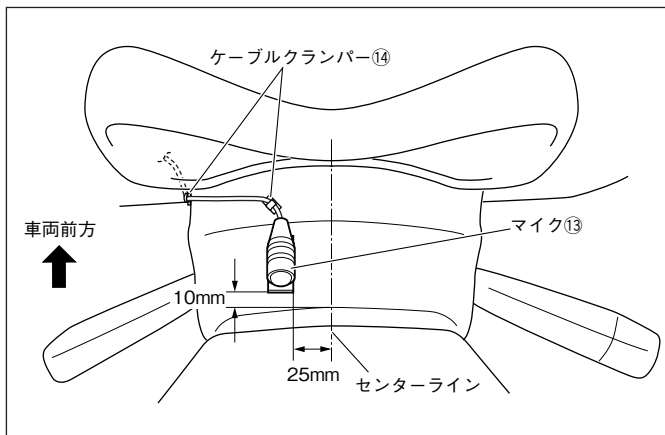
1. フロントピラー(trim) (LH/RH) を取り外します。
2. ルーバーキャップ2個を取り外します。
3. センターガーニッシュを取り外します。(ハザードスイッチコネクター、ネジ2本、クリップ6箇所)
4. センターガーニッシュから車両ブラケット左右を取り外します。(ネジ4本、オーディオコネクター、アンテナコネクター)
5. 車両ブラケット左右からカバーを取り外します。(ネジ2本)
6. スピードナット2個を取り外します。
7. グローブボックスを取り外します。

2. GPS アンテナの取り付け



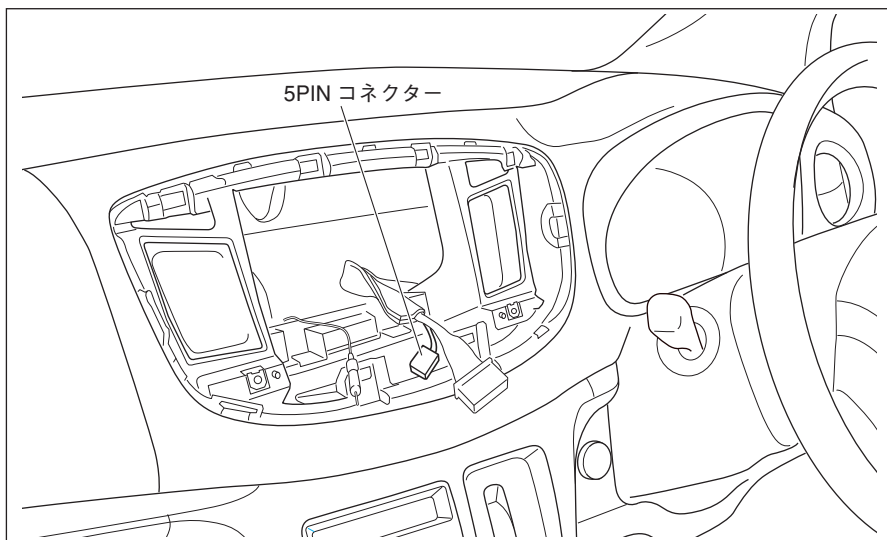
1. GPSアンテナ③を左図の位置に取り付けます。

3. マイクの取り付け



1. マイク⑬を左図の位置に取り付けます。
2. マイク⑬のケーブルをケーブルクランプ⑭で固定します。

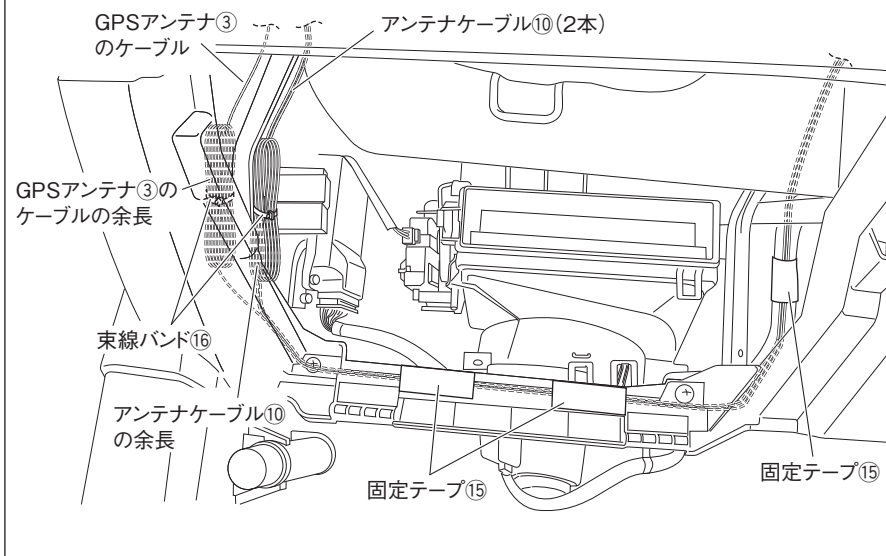
4. 車速信号、パーキング信号、バック信号の取り出し



1. 5PINコネクターの線が車両ハーネスにテープで固定されているので、このテープを外します。
2. 5PINコネクターを引き出します。
3. 結線図を参照して、5PINコネクターと電源ハーネス②のコネクターを接続します。

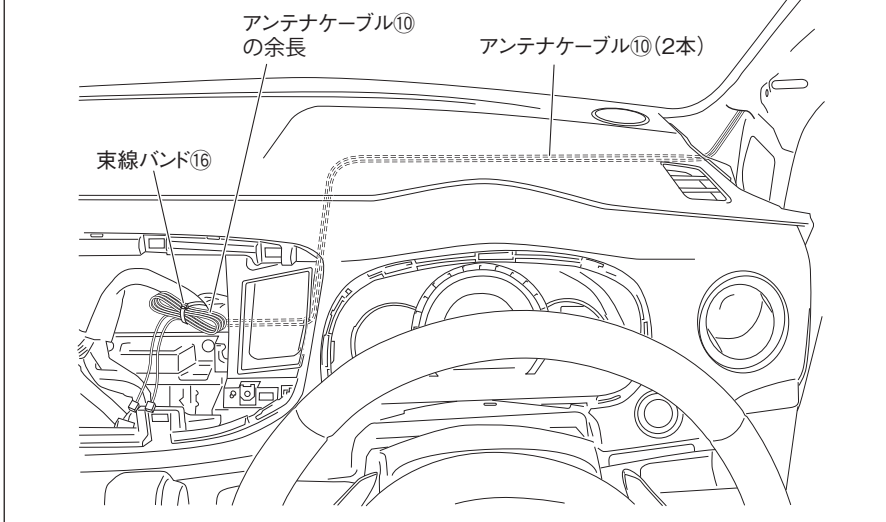
5. 配線

<助手席側：グローブボックス取り付け部奥の配線>



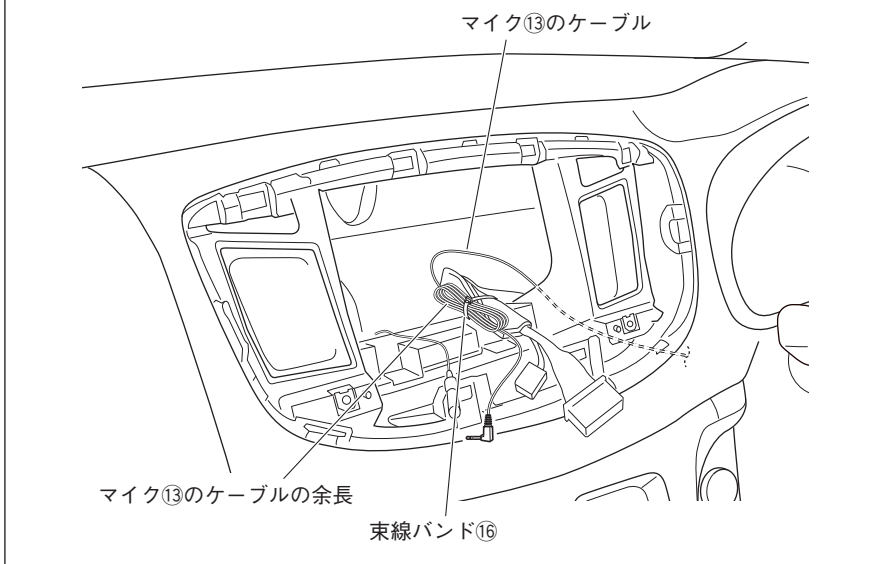
1. GPSアンテナ③のケーブルとアンテナケーブル⑩2本をダッシュボード助手席側からグローブボックス取り付け部奥を通して、ナビゲーション本体①まで配線します。ケーブルは固定テープ⑮で車両ハーネスと樹脂部に固定し、余長は束線バンド⑩で車両ハーネスに固定します。

<運転席側：メーター取り付け部奥の配線>



2. アンテナケーブル⑩2本をダッシュボード運転席側からメーター取り付け部奥を通して、ナビゲーション本体①まで配線します。余長は、束線バンド⑩で車両ハーネスに固定します。

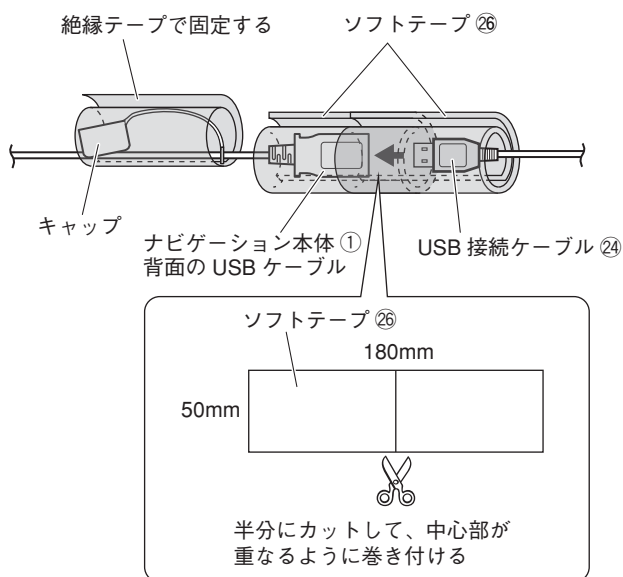
<マイクのケーブルの配線>



3. 左図のようにマイク⑬のケーブルをナビゲーション本体①まで配線します。余長は、束線バンド⑩で車両ハーネスに固定します。

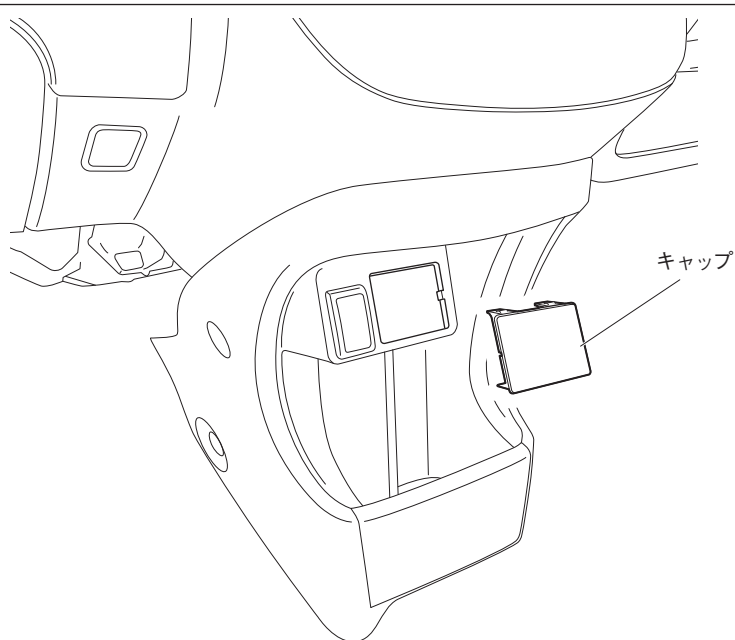
▲ 注意

ケーブル類をはさみ込まないようにしてください。

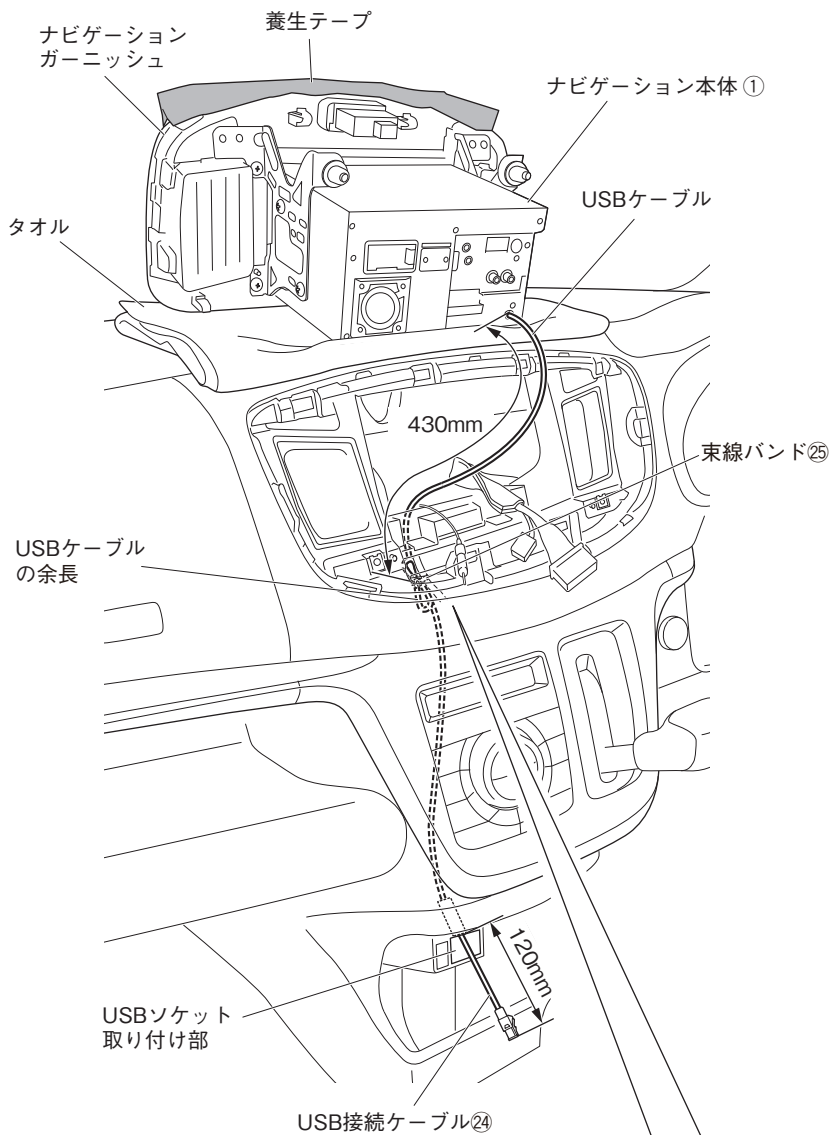


- USB ソケット (別売品) を使用する場合は、手順 4 へ進んでください。
- USB ソケット (別売品) を使用しない場合は、手順 11 へ進んでください。

4. ナビゲーション本体①背面のUSBケーブルとUSB接続ケーブル②④を接続します。接続部は、異音と抜け防止のためソフトテープ②⑥を巻きます。取り外したUSBのキャップは、絶縁テープでUSBケーブルに巻いて固定してください。



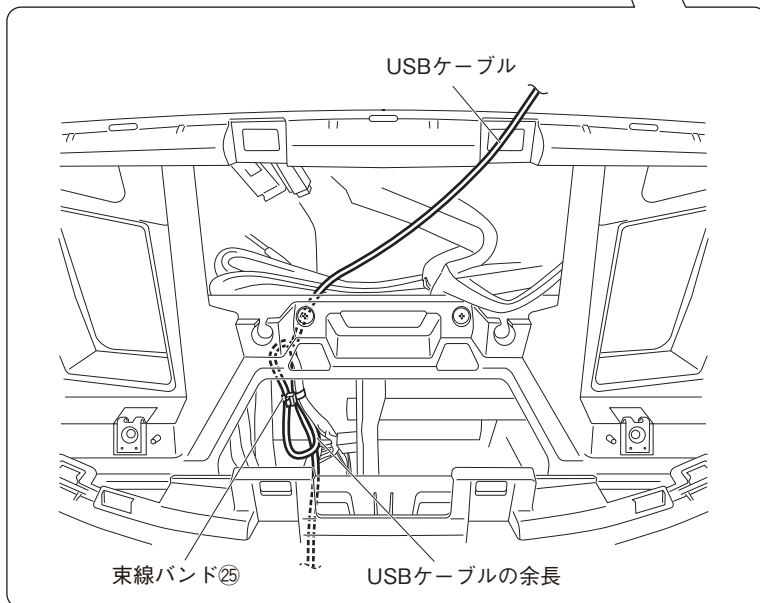
5. アクセサリーソケットのキャップを取り外します。

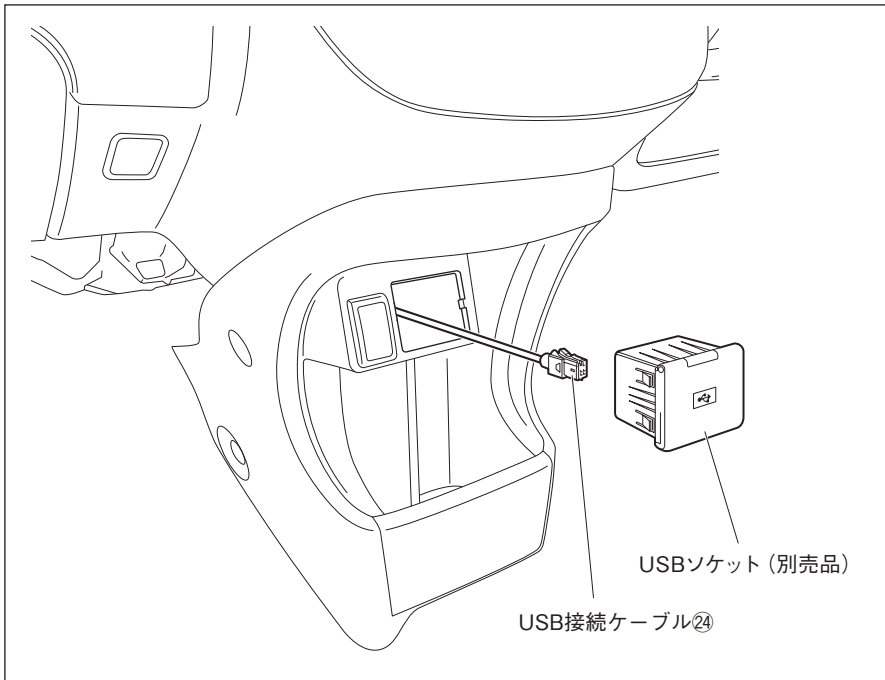


6. ダッシュボードの上をタオルなどで保護し、ナビゲーション本体①を逆さにして置きます。
その際、ナビゲーションガーニッシュの図の部分に養生テープを貼ります。
7. ナビゲーション本体①背面のUSBケーブルをエアコンパネル下まで配線し、USBソケット（別売品）を取り付ける穴から120mm出します。
8. 図のように配線し、余長は束線バンド㉔で車両ハーネスに固定します。

▲注意

ナビゲーション本体①背面のUSBケーブルは、板金エッジ、樹脂エッジ、および可動部に干渉しないように配線してください。





9. USB接続ケーブル⑳とUSBソケット (別売品) を接続します。

▲ 注意

コネクターはカチッと音がするまで 確実にはめ込んでください。

10. USBソケット (別売品) を車両に取り付けます。

▲ 注意

USBソケット (別売品) のツメが 確実に掛かるように取り付けてください。

11. 結線図に従い接続します。

ナビゲーション本体①をスクリュー (M5×14) (別売品) で車両に取り付ける際は、ゆるみのないよう締め付けてください。

(参考締め付けトルク：3 N・m)

※ USBソケット (別売品) を使用しない場合は、共通編P18「■USBケーブルとiPod接続ケーブル (別売品) の配線」をご覧ください。

● コード類を配線する際は、下記の点に注意してください。



警告

車体やネジ部分、シートレールなどの可動部にコードを挟み込まないように配線する断線やショートにより、火災や感電、故障の原因となります。

コード類の配線時に金属部と接触するところは、絶縁テープを巻く
コード類の被覆が切れて金属部に接触するとショートによる火災や感電、故障の原因となります。

8. 車両部品の復元

1. 取り外しと逆の手順で取り付けます。

● ネジの締め付けトルクが規定されているものがある場合は、規定のトルクで締め付けてください。